

JCI 2009 NEWS

社会変革に挑むカタリストたれ!
わがまち北九州への誇りを胸に

Kitakyushu JC Report 2009
社団法人北九州青年会議所
Junior Chamber International Kitakyushu
<http://www.kitakyushu-jc.jp/>
[事務局]
〒802-0082 北九州市小倉北区古船場町1-35
北九州市立商工貿易会館6F
1-35-6F, Furusenba-machi Kokura-kita, Kitakyushu, Fukuoka
TEL 093-531-7910 / FAX 093-551-0212
E-mail : room@kitakyushu-jc.jp

6
June

JCI Junior Chamber International Kitakyushu
Worldwide Federation of Young Leaders and Entrepreneurs

2009年6月号



社団法人北九州青年会議所 第57代理事長

松尾 孝治

Matsuo
Koji

対談

今月号の対談は戸畑出身で
現在、NHKの会長を務められる
福地茂雄氏をゲストに
松尾理事長と語り合っていました

北九州を
カタリヒト。
vol.04

日本放送協会 (NHK) 会長

福地 茂雄



Fukuchi
Shigeo

北九州市は見事に変わった。
それも良い意味で。

松尾 まず、福地会長の北九州市に対する思いや、北九州市といえばズバリこれだということをお聞きしたいのですが。

福地 北九州市は見事に変わったと思います。それも良い意味で変わった。私たちが小さいころは八幡製鐵所。まさに、北九州市といえば製鐵でした。あの煙が誇りでした。あのモクモクとした煙のなかでは洗濯物などは干せないですよ。今でこそ「環境汚染だ」とか言われるでしょうが、しかし当時はそれで文句を言う人などいなかった。「鉄は国家なり」という言葉ではありませんが、やはりあれが日本の四大工業地帯のなかに自分たちの地域が入っているという市民の誇りだったでしょうね。そういったことにより、北九州市は非常に活性化してきたわけです。時代の変化の移りとともに、そして鉄冷えを含む長い間の苦悶の末に、自動車・ロボットなどを中心とした工業にシフトして強みを活かしてきました。そう考えると見事に変わったと思います。

またもう一つ変わったのは、北九州市は『環境』をテーマにするまちになった。かつて北九州市のイメージと言ったら「灰色のまち」であるとか「環境汚染」。そして現在はモノづくりから廃棄物の処理まで、完全に資源循環型の都市になりましたよね。これは強いですね。

松尾 なるほど。動脈と静脈、両方とも揃っているまちと言えますね。

人材教育に努めれば、北九州市は最盛する。

福地 今の時代は廃棄物リサイクルまで考えていかないと、モノづくりだけではなかなかうまくいかない。どこの工場でもそうですが、廃棄物をどのようにして再資源化していくかが重要課題です。循環型が求められるなかで、北九州市は自らのまちの中でその役割を果たしていることが素晴らしいと思います。もう一つ大事なことは人材教育です。もともと北九州市というのは人材教育をしっかり行なう地域だと思います。北九州市は四大工業地帯の一角を占めていた時代から工業に関連する教育に熱心でした。そのおかげで人材の質が基本的に高い。

1934年、福岡県戸畑市（現北九州市戸畑区）生まれ。福岡県立小倉高等学校を経て長崎大学経済学部卒業後、1957年に朝日麦酒株式会社（現アサヒビール株式会社）入社。京都支店長、本社営業部長、常務取締役大阪支社長、代表取締役社長兼COO、代表取締役会長兼CEOなどを歴任後、2006年3月より2008年1月まで相談役。2008年1月25日、日本放送協会（NHK）会長に就任。

福地 工業都市としてのインフラに恵まれているわけですから、ますます人材教育に努めていただきたいと思います。そうすれば、21世紀型の都市としてますます最盛していくのではないのでしょうか。今はそういった時代です。

松尾 極論を言えば、商業都市を作るよりも、工業都市はインフラ整備が大変なので、作っていくのがなかなか難しいと思います。何が大変なのか。その一番が人材教育にあると私も思います。

福地 企業だけ誘致しても駄目ですし、人材教育だけでも駄目です。両方があるのはじめてうまくいく。相互間的にできあがっていかないといけません。北九州市はその両方の素材的に恵まれたまちだと思います。

先人たちが「公の精神」を持って
一致団結してきたからこそ、今の北九州市がある。

松尾 この北九州市というまちをひも解くと、1901年に官営八幡製鐵所を誘致し八幡の鉄が国家を支えた時代。その代償に起こった、公害という困難な問題を克服した時代。そして世界で類を見ない五市が対等合併した時代。プラザ合意後の厳しい鉄冷えから新しい都市ブランドを構築するためになんとか再生してきた時代。それら全てが先進的であり、他にも今までどこも誰も経験していないことをみんなで力を合わせてクリアしていったという誇るべき歴史を持ち合わせています。なぜそんなことが出来たのか？やはりそれは先人たちが、個人の利害を超越した精神性、すなわち「公の精神」を持って一致団結してきたからこそ様々な困難を乗り越えてきた。だからこそ今の北九州市があると考えます。先ほどの人材教育の話などは、その根幹が繋がっているなと思いました。

エコロジーはエコノミーをともしななければダメ!

松尾 ところで、福地会長はアサヒビールの社長時代に様々な環境経営に取り組まれたのですよね。

福地 最初は1996年、茨城工場で産業廃棄物をゼロにしようということから始まりました。そしてゴミをゼロにするだけでなく、廃棄物の再資源化100%を達成することができました。その結果、今では再資源化の方が廃棄するよりもコストが安くなりました。そして名古屋工場での、環境に有害なフロンガス・代替フロンを一切使用しない完全ノンフロン化。ノンフロン化も当然初期コストが多くかかりますので、将来のコストダウンのためにコ・ジェネレーションシステムを導入しました。これにより、電気と熱を効率よく利用できるようになりました。また2002年に完成した神奈川工場では、クリーンエネルギーということで、使用電力全体の20%を風力発電で賄うことにいたしました。『グリーン電力証書』システムにより、自然のエネルギーによって発電された電力を利用。さらには夜間電力を蓄電し、昼間に利用することで、結果として年間500万円の電気代のコストダウンが図れました。私はかねてより「エコロジーはエコノミーをともしななければダメだ」と言ってきましたが、その積み重ねが功を奏したのです。

松尾 今、北九州市は「世界の環境首都」を目指しております。我々はまさしく「環境首都市民」になるように、それをひとりでも増やしていこう!という運動を行なっているわけですが、福地会長は間違いなく「環境首都市民」であり、その一番のリーダーではないかと感じました。

福地 元々日本人というのは、モノを大切に、隣近所をきれいにするという、極めて良いDNAがあるわけです。しかし今は皆ご飯を残す。食べ残しが多い。食物の廃棄を金額ベースで推計すると、年間11兆円だそうです。これは考えられないですよ。だからこそ、元々日本人が持っているDNAをもう一度呼び起こす必要があるのです。

松尾 日本人の原理原則に立ち返っていくと、そこに行き着くという事ですね。元来の日本人の美德ということですね。まさしく今我々の行なっている運動が、会長がおっしゃっていることにピッタリと重なります。

松尾 そして北九州市だからこそそのような意識改革のメッセージを発信していかなければならないと思います。我々にはこれまでの経験・歴史を踏まえた上でのバックボーンがありますから、それを活かすチャンスがあると考えます。

福地 北九州JCのエネルギーに期待しております。

JC運動を発信するにはメディアの力が必要。

松尾 ありがとうございます。ところで話は変わりますが、われわれのまちづくりの運動を市民に発信していく上で、メディアの力がどうしても必要となってまいります。これは北九州市の弱点だと思えますが、市内には市民に運動を浸透させる為の強力なメディアがないのが現状です。今後はNHKさんの力を存分に使わせて頂けたらと思います。

福地 どうしたら私たちNHKが地域の力になるか、また地域のお役に立てるのかを「放送局のちから」として今年の方針の柱のひとつとしております。そういった面では北九州局ではサッカーチームの『ニューウェーブ北九州』の試合中継を行なっておりますが、地域の活性化のために、放送局としてできることを更に見つけていきたいと思っております。JCの皆様も地域の活性化の取り組みのために、是非NHKを活用してもらいたいと思います。そしてJCの力で、北九州市を元気発進させて欲しいと願います。明るく元気な話やニュースが流せるように一緒に頑張りましょう。期待しています。

松尾 こちらこそ福地会長の今後益々のご活躍を、地元北九州から楽しみにしております。今日はお忙しいところありがとうございました。



第19回九州地区JCサッカー選手権大会in長崎

開催日 ■ 5月23日(土)・24日(日) 会場 ■ 長崎市総合運動公園

Aチーム
祝!優勝
Bチーム
第4位

5月23日・24日、『第19回九州地区JCサッカー選手権大会』が長崎の地で開催されました。北九州JCサッカー部はOBの方々のご協力もあり、過去最高の総勢36名で参加、念願の2チーム出場を果たしました。初日の予選リーグでは2チーム共に全戦無失点の快勝で決勝トーナメントに進出。2日目の決勝トーナメントでは、強豪チームとの連戦により疲労も激しく大変厳しい試合展開もありましたが、Aチームは見事4年ぶり6度目の優勝を果たし、Bチームもベスト4という抜群の成績を残す事が出来ました。



これも本大会までの日々の練習はもとより、メンバーが助け合い『心をひとつに』して戦った結果であったと思います。現役同志の友情、そしてOBとの親交が深まったのは大変素晴らしい事だと思います。優勝という一つの目標に向け皆が一丸となる事で、心が通じ合う姿を目の当たりにして、本当に感動いたしました。更には対戦する事で生まれる他LOMとの交流は、北九州JC全体にとっても間違いなく貴重な財産になったのではないのでしょうか?試合が終われば、JAYCEEとして互いに健闘を称え合い、声を掛け合う姿を見ていると本当に清々しい気分になりました。私はマネージャーとしてただ見守るばかりでしたが、最高の成果を得た瞬間と共に出来た事に心から感謝しております。

OBの先輩方をはじめ選手の皆様、本当にお疲れ様でした。また、多くのご声援やご協力を頂きました事を心より深く感謝申し上げます。

北九州JCサッカー部 マネージャー 井上 知巳

2009 JCI-ASPAC長野大会

開催日 ■ 6月4日(木)～7日(日)
会場 ■ 長野県長野市

大会スローガン **和** Making Smiles,
Cherishing Harmony



6月4日～7日、2009年度JCI-ASPAC(国際青年会議所アジア太平洋エリア会議)が長野県長野市にて開催されました。

2006年度高松大会以来の国内で開催された今大会では、6日(土)のジャパンナイトにおいてわがまち北九州市をアピールするためにブースを出展し、名物の「じんだ煮」と北九州JC発行の情報誌「Zutto 北九州」を配布いたしました。大変好評で、また多くの北九州JCメンバーの協力もあり、わずか30分ほどで完配いたしました。「じんだ煮」はおよそ400年前、小笠原藩藩主・小笠原忠真が故郷の長野より持ち帰った信州味噌を九州で採れる新鮮な魚、特にアオモノの鯛や鰯を保存食にするために煮込んで食したことが発祥とされています。普段何気なく食べているわがまち発祥の食べ物も、実は北九州市と長野を結ぶ深い繋がりがあることを知り感銘を受けました。

日本を含め最大20の国や地域のJCメンバーが集うこの大会で、国際交流と友好の素晴らしさや「国際的視野を持った人材の育成」を図る重要性を感じたのではないのでしょうか。

国際交流促進委員会 小田原 寛明

6月度例会

講師 ビッグ・フィールド・マネージメント株式会社
代表取締役 大野 尚 氏 取締役 只松 崇 氏

開催日 ■ 6月9日(火)
会場 ■ 北九州市立商工貿易会館

6月9日、北九州市立商工貿易会館多目的ホール(CP201)にて、(社)北九州青年会議所6月度例会が「与えられた機会をチャンスに変えよう」をテーマに開催されました。

講師にビッグ・フィールド・マネージメント(株)代表取締役の大野尚氏と取締役の只松崇氏をお迎えし、市民の方も参加していただき講師例会を行いました。大野氏は「人を企業を元気に明るく」、只松氏は「社員を元気にするコーチング」をテーマに、目標の達成の方法、積極果敢にチャレンジしていくためのモチベーションの高め方、コミュニケーションの重要性等について講演していただき、参加メンバーはメモをとりながら熱心に話を聴き、積極的な質疑応答も行われました。JC運動にとどまらず、様々な目的にチャレンジしていくモチベーションを上げる機会となる有意義な例会でした。

例会委員会 高田 英一



ALL JC DAY 2009のご案内

開催日 ■ 7月3日(金)
会場 ■ リーガロイヤルホテル小倉4階 ロイヤルホール
17:00～18:00 2009年度役員選挙委員選挙 投票(4階 ロビー)
18:00～18:40 2009年7月度例会
19:00～20:15 式典・伝承アワー
20:15～21:45 懇親会



7月3日の北九州青年会議所の創立記念日に、今年で第三回目となる「ALL JC DAY 2009」をリーガロイヤルホテル小倉にて行います。

多くの諸先輩方にお越しいただき、当時の運動や社会状況、そして苦労されたお話を伺う事により、多くの学びや気付きを得る大変貴重な機会となります。また、本年度は仁川富平JCの皆様にもご参加して頂き、国際色豊かな内容となっております。是非「ALL JC DAY 2009」にお越し下さい。

お問い合わせ先: OTONANOSENAKA推進委員会 委員長 井上 剛

サマーコンファレンス2009のご案内

「真日本建国」へ舵を切れ!!
～開港の地から無限の可能性のある未来に向けて～

開催日 ■ 7月24日(金)～7月26日(日)
会場 ■ パシフィコ横浜

来る7月24日～7月26日、開港150周年を迎える横浜の地において、(社)日本青年会議所サマーコンファレンス2009が開催されます。

100年に一度の不況と叫ばれる今だからこそ、サマーコンファレンスの意義が力強く感じられる大会になります。また2012年全国会員大会の誘致を目指す北九州JCの立候補プレゼンテーションが7月23日(金)の日本青年会議所理事会において行われます。さらにLOMナイトにおいては美味しい横浜グルメを用意してお待ちしております。

たくさんのメンバーの皆様のご参加お待ちしております。

お問い合わせ先: 環境首都市民発信委員会 委員長 茂木 一

6月度入会された 新入会員のご紹介

田中 徳将 君 [タナカ ヨシユキ]
生年月日 ■ 1983年5月24日
勤務先 ■ (株)エルザ
紹介者 ■ 松尾・山賀

矢野 博一 君 [ヤノ ヒロカズ]
生年月日 ■ 1976年8月31日
勤務先 ■ 税理士法人セントラル会計事務所
紹介者 ■ 小野・堀口

兒玉 雄太 君 [コダマ ユウタ]
生年月日 ■ 1975年5月7日
勤務先 ■ 協栄興産(株)
紹介者 ■ 小野・吉田

竹中 達也 君 [タケナカ タツヤ]
生年月日 ■ 1973年12月4日
勤務先 ■ 竹中工業(株)
紹介者 ■ 井原・山賀

大貝 敏之 君 [オオガイ トシユキ]
生年月日 ■ 1978年7月5日
勤務先 ■ (有)大貝写真館
紹介者 ■ 小嶋・堀口

小迫 奈緒 君 [コサコ ナオ]
生年月日 ■ 1975年4月8日
勤務先 ■ Music Trinity
紹介者 ■ 小迫(美)・松尾・小嶋

安河内 克枝 君 [ヤスコウチ カズエ]
生年月日 ■ 1978年12月27日
勤務先 ■ (株)安河内総合食品
紹介者 ■ 渡邊・井上

村上 紀章 君 [ムラカミ トシアキ]
生年月日 ■ 1978年6月21日
勤務先 ■ 村上登記測量事務所
紹介者 ■ 渡邊・安部

松田 健一郎 君 [マツダ ケンイチロウ]
生年月日 ■ 1976年2月19日
勤務先 ■ (株)ニューげんかい
紹介者 ■ 中野・山賀

吉井 大記 君 [ヨシイ ダイキ]
生年月日 ■ 1984年9月16日
勤務先 ■ (株)アズエル
紹介者 ■ 平野・茂木

貞束 光平 君 [サダスエ コウヘイ]
生年月日 ■ 1974年11月10日
勤務先 ■ (株)リベラル
紹介者 ■ 宮熊・堀口

北九州の応援団

北九州JCは、ニューウェーブ北九州・到津の森公園をはじめ、わがまち北九州を応援します。



SEICHO MATSUMOTO 100th Anniversary Year | 2009 Kitakyushu City

松本清張生誕百年 記念事業・イベント開催中!

詳しくはホームページで <http://www.seicho-100.com/>



月刊ニューウェーブ通信

音響でサポーターと選手をつなぎ一体にする。

ホームゲームでの私の役割は、施設放送設備全般の調整と音響のオペレートです。自分の流した音でお客様が盛り上がりとその想いや雰囲気が、ピッチの選手に伝わるんですね。そうするとお客様のテンションもますます上がってきて、それはもうすごい一体感なんです。そういう空間をつくれるお手伝いが少しでもでき、ご来場いただいたお客様に楽しんでもらえるよう毎試合心がけています。

この仕事をやっている、選手の皆さんがとても身近に感じられ、これぞ「我がまち北九州のサッカークラブチーム」と思えます。選手がピッチに入場する前、闘気というかものすごいオーラが出ているんです。その選手たちを地元小学生や中学生がとてもキラキラした目で見つめているんです。「憧れる」とはこういうことなんだろうなとも思っています。そういう光景を見てると自分ももっとがんばらなといけなと、とても刺激になります。



(有)九州音響システム
浦野 将宜 さん

ホームゲーム日程 18時 KICK OFF

後期ホーム初戦 今季初のナイトゲーム!
7月18日(土) VS ソニー仙台FC
■会場: 本城陸上競技場(八幡西区御開4-16-1)
■入場料: 大人 1,000円(前売 800円)

北九州を愛する人、集まれ! 2009年度ボランティアスタッフ募集中!!

ニューウェーブ北九州では、日本フットボールリーグ(JFL)のホーム開催試合におきまして試合運営のお手伝いをしていただける方を募集しています。サッカーのことがわからない方、毎試合の参加が難しい方でも心配ありません。北九州のスポーツ文化を通して「子どもたちに夢と感動を」の合言葉のもと、北九州市の盛り上げにご協力くださる方を募集いたします。

詳しくはHPで

<http://newwave-k.co.jp/>



到津の森公園 Staff Column

第70回林間学園を開催します!

夏休みの小学生向け自然体験プログラムとして好評をいただいている林間学園は、今年で記念すべき第70回を迎えます。

子どもたちの健康と夢を活かそうと、口演童話の創始者であり日本のアンデルセンともいわれる久留島武彦氏から提案を受けた旧到津遊園が、昭和12年に各方面の講師の協力を得て「夏期芸術教育林間学園」を開催したのが始まりです。

以来、森と動物園を背景とした独特の児童文化精神は脈々と受け継がれ、これまで約7万人の卒園生を送り出してきました。

今年もたくさんのご応募をいただき、8月3日から3学期間に渡り開催します。子どもたちの夢をのせて、これからも林間学園は成長していきます。

到津の森公園 事業管理係 原 繭子 さん

Event Information



わくわく体験教室

小枝で作ろう!カストムシ

7月12日(日)・26日(日)13:00~15:00

※受付は13:45まで(材料がなくなり次第終了いたします)

■場所: 里のいきもの館レクチャールーム

■参加費: 1回100円(別途入園料が必要)

世界的カストムシ・クワガタ展

いとうづ便 カストムシ・クワガタ世界ツアー

7月11日(土)~9月6日(日)まで開催

入園料だけで
ご覧になれます



世界各地を大陸ごとにゾーンに分け、各地のカストムシ・クワガタを展示するほか、虫を取り巻く各地の環境や問題点などもわかりやすく紹介します。

詳しくはHPで <http://www.kpfmmf.jp/zoo/>

※イベント内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

期間中だけの、特別イベントも多数開催!

未来を担う子どもたちのために...

「青空がほしい」プロジェクト

皆さんは「環境問題」という言葉の意味をご存知ですか?

文献には「人間の活動に由来する周囲の変化により発生した問題」とありますが、果たしてどれくらい認識されているのでしょうか?

おそらく自然に関する諸問題に偏りがちだと思います。そのような単純なものではないはず。では人間の活動に由来するものとは何でしょうか?それは社会環境・経済環境・自然環境であり、具象的・抽象的でもあるもの、その答えは無限大だと思います。ただ重要なことは、無限なものへ人類が何のために取り組むかではないでしょうか。

私はドキュメンタリー映画「青空がほしい」を観て、「子どもたちの未来のために」ということだけは確信することができました。

「青空がほしい」プロジェクト特別委員会 委員長 藤本 知秀

まずは「Jコン」にご参加ください 北九州JC「会員募集!」

北九州JCでは、私たちと共に「明るい豊かな社会の実現」を目指し活動していただける、行動力のある青年を募集しております。その活動を直接知っていただくため、入会を希望される方とメンバーとの親睦会(Jコン)を、月に1回程度開催しておりますので、「まちづくり」や「ひとづくり」などの活動にご興味のある方は、ぜひ一度ご参加ください。「Jコン」で私たちと、北九州や日本そして世界の未来について語り合ってみませんか?

お問い合わせ先: 会員拡大委員会 委員長 堀口 隆祐

次回「Jコン」、7月下旬開催予定!



北九州青年会議所

検索

<http://www.kitakyushu-jc.jp/>

ホームページで新着情報や活動報告を今すぐチェック!



ケータイからもアクセスOK!

※機種により閲覧できないページや画像があります。



社団法人北九州青年会議所は、
2012年度 社団法人日本青年会議所 第61回全国会員大会の
誘致に向けて「心をひとつ」にして運動を推進しています。